

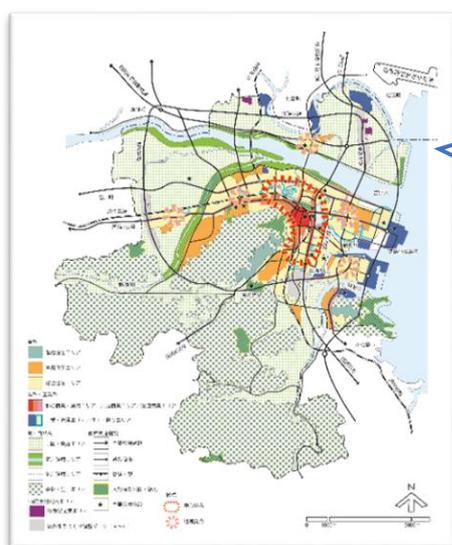
IV 地域のまちづくり方針

1 基本的な考え方

前章の「都市づくりの基本方針」では、本市が目指す「水と緑にうるおうコンパクトシティ」の実現に向け、都市計画に関する分野別の基本的な方針を総合的・体系的に示していますが、その具現化のためには、地域が主体性を持って、行政と協働で地域の生活環境の向上や地域資源を活かした魅力づくりなど、地域ごとの具体的で様々な取組が必要となります。

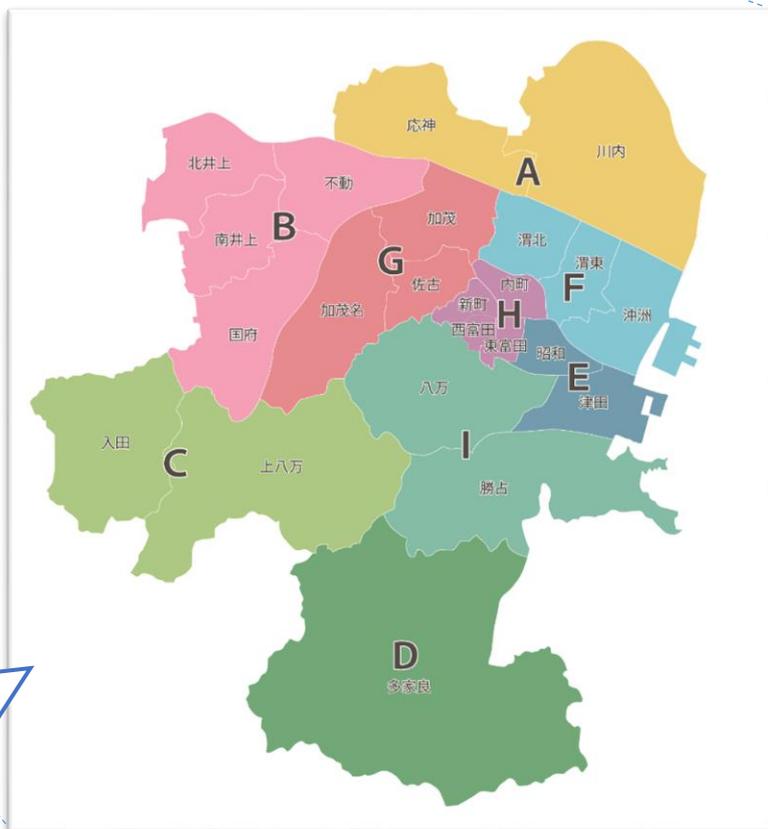
地域のまちづくり方針は、本市の都市の成り立ちや土地利用としてのまとめり、各地域の特色等を踏まえ、市域を9つの地域に区分し、「都市づくりの基本方針」と整合を図りながら、将来のまちづくりの方向性を示すものとして策定します。

■都市づくりの基本方針と地域のまちづくり方針の関係



【都市づくりの基本方針】
「水と緑にうるおうコンパクトシティ」の実現に向け、都市計画に関する分野別の基本的な方針を総合的・体系的に示す。

【地域のまちづくり方針】
市域を9つの地域に区分し、「都市づくりの基本方針」と整合を図りながら、将来のまちづくりの方向性を示す。



■地域別人口、世帯数、高齢化率

地域	地区名	人口 (人)	世帯 (世帯)	高齢化率 (%)
A	川内	16,566	7,672	27.7
	応神	5,297	2,623	32.4
	計	21,863	10,295	28.8
B	国府	13,131	5,783	29.5
	不動	2,368	1,247	41.5
	北井上	3,601	1,674	39.9
	南井上	6,553	2,657	28.7
	計	25,653	11,361	31.8
C	入田	1,485	780	41.5
	上八万	8,545	3,950	37.0
	計	10,030	4,730	37.7
D	多家良	6,496	2,770	35.4
	計	6,496	2,770	35.4
E	昭和	9,959	5,212	28.8
	津田	14,201	7,061	32.1
	計	24,160	12,273	30.7

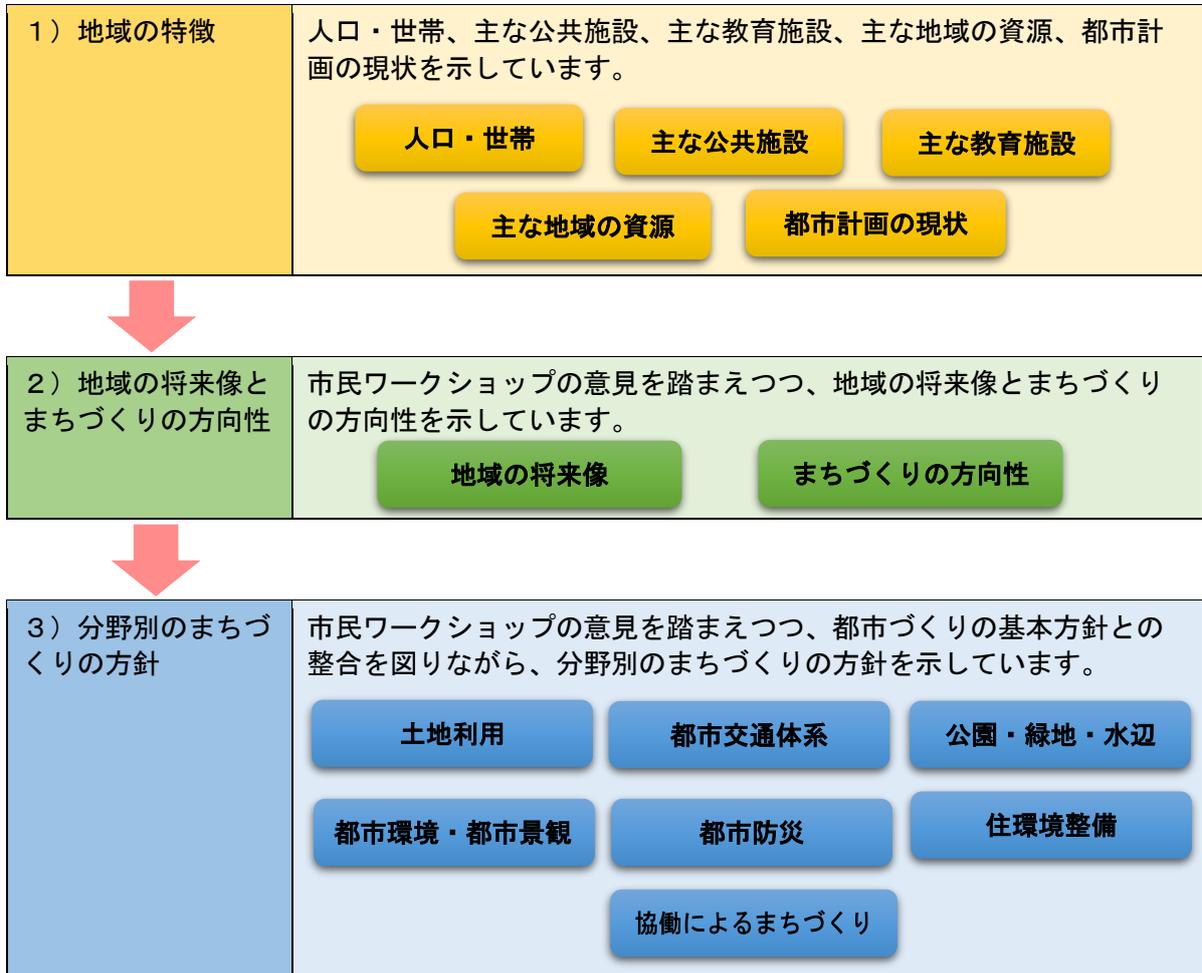
地域	地区名	人口 (人)	世帯 (世帯)	高齢化率 (%)
F	渭北	14,974	7,279	26.2
	渭東	14,102	7,266	28.4
	沖洲	17,191	8,296	27.6
	計	46,267	22,841	27.4
G	佐古	11,022	5,848	33.3
	加茂	20,275	9,372	23.3
	加茂名	24,575	12,473	28.8
	計	55,872	27,693	27.7
H	内町	5,539	2,963	34.1
	新町	1,889	1,029	40.7
	東富田	6,373	3,743	36.4
	西富田	1,827	1,080	40.5
	計	15,628	8,815	36.6
I	八万	27,393	13,113	28.0
	勝占	17,361	7,578	28.3
	計	44,754	20,691	28.1
合計		250,723	121,469	29.7

出典：住民基本台帳（令和4年1月1日時点）

2 地域のまちづくり方針の構成

地域のまちづくり方針は、「地域の特徴」、「地域の将来像とまちづくりの方向性」、「分野別のまちづくりの方針」で構成しています。

■地域のまちづくり方針の構成



3 地域のまちづくり構想

(1) 川内・応神地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

本市の北東部に位置し、四国縦貫自動車道、四国横断自動車道、徳島東環状線等の整備が進んでいます。徳島阿波おどり空港にも近く、優れた広域交通の利便性を活かして、流通団地、ブレインズパーク徳島、ハイテクランド徳島が整備されています。

また、吉野川と今切川に挟まれた平坦な地形が広がり、まとまった優良な農地も見られます。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化や津波被害対策のほか、今切川流域の高潮及び内水氾濫対策が必要な地域です。

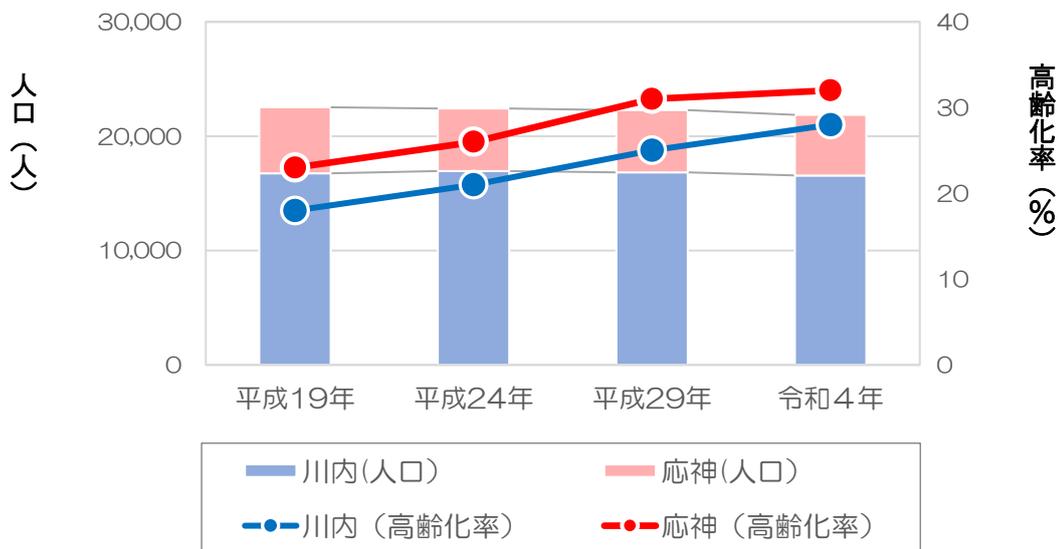
人口密度、高齢化率とも市平均よりやや低くなっています。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
川内	16,566	7,672	27.7	920
応神	5,297	2,623	32.4	620
合計	21,863	10,295	28.8	820
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和4年1月1日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年1月1日時点）

■主な公共施設

徳島市支所（川内・応神）、公民館（川内・応神）、コミュニティセンター（応神）、児童館（応神）、隣保館（応神公栄会館）、保育所（川内・応神）、吉成駅、徳島市立葬斎場、徳島市民吉野川北岸運動広場、徳島市立スポーツセンター、東消防署川内分署

■主な教育施設

幼稚園（川内北・川内南・応神）、小学校（川内北・川内南・応神・生光学園）、中学校（川内・応神・生光学園）、高校（徳島北・生光学園）、四国大学

■主な地域の資源

阿波十郎兵衛屋敷と人形浄瑠璃、吉野川（北岸堤防から眉山を望む風景・夕景・ヨット・ウインドサーフィン）、吉野川に架かる橋（吉野川サンライズ大橋・阿波しらさぎ大橋・吉野川大橋・吉野川橋・吉野川橋りょう(JR 高徳線)・四国三郎橋）、小松（藩政時代に築かれた石垣・防風林・海岸・海水浴場・サーフィン・ドッグラン）、今切川の夕景、昇開式の加賀須野橋、別宮八幡神社参道

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	<ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域が大部分を占める 市街化区域が点在
都市計画道路 (地域内での整備状況)	<p>【整備済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鯛浜吉成線（北環状線） かちどき橋鳴門線（国道11号） 阿南鳴門線（四国横断自動車道） 川内線（四国横断自動車道） <p>【未整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 徳島東環状線、鯛浜大松線（北環状線）
都市計画公園・緑地	<p>【緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> 吉野川河川敷緑地 小松海岸緑地
その他	<ul style="list-style-type: none"> 徳島市営火葬場（葬斎場） 小松風致地区 特別用途地区（大規模集客施設制限地区）



阿波十郎兵衛屋敷



応神ふれあいバス

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

広域交通ネットワークと水辺・緑・歴史文化資源を活かしたまちづくり

- ▶ 吉野川をはじめとする水辺環境や優良農地との調和を図りつつ四国横断自動車道、徳島環状線の広域交通ネットワークを活かして、次世代の活力を創造する産業業務拠点を維持します。
- ▶ 阿波十郎兵衛屋敷に代表される歴史文化資源、吉野川・小松海岸などの水辺の資源、農業・漁業などの産業を活かし、地域の活性化を図りながら、多世代が暮らしやすい生活環境を形成します。



まちづくりの方向性

- ① 広域交通ネットワークと地域資源の活用による地域活性化
- ② 暮らしを支える生活サービスや移動手段の確保
- ③ 吉野川・小松海岸などの水辺や歴史文化資源を活かしたにぎわいづくり
- ④ 洪水・高潮・津波に強いまちづくり
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市計画法による区域区分、用途地域等の土地利用規制を基本とし、市街化を促進する地域と優良農地を保全し市街化を抑制する地域に分けて規制・誘導します。
- 四国大学等の都市機能が立地する区域は、大学や生活サービス施設の維持・充実を図り、将来を担う若者の育成や地域の暮らしを支える拠点の形成を目指します。(地域拠点)
- 指定幹線道路沿道では、周辺環境との調和や景観に配慮し規制・誘導します。
- 市北部の外環状道路に近接する流通団地、ブレインズパーク徳島、ハイテクランド徳島は、都市型産業エリアとして機能の維持と環境整備を図ります。
- 市街化調整区域では、無秩序な開発の防止に努めます。徳島東環状線の整備により市街化が進むことが予想される地域は、地区計画制度の活用により秩序ある土地利用を維持しつつ運用してきましたが、コンパクトシティのさらなる推進に向けて、一定の移行期間を伴う廃止を視野に入れた検討を行います。(郊外まちづくり調整ゾーン)

② 都市交通体系の方針

- 徳島東環状線及び北環状線の整備により、幹線道路ネットワークを活かした円滑な交通を確保します。
- 中心部へ連絡する循環バス路線及び広域バス路線は、まちの骨格を支えるバス路線として位置づけ、将来にわたって持続可能な公共交通の維持に向けて整理・再編に取り組みます。
- 応神地区で運行している「応神ふれあいバス」の運行・維持を支援します。
- 地域拠点では、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」まちづくりを推進します。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- 小松海岸緑地及びその周辺では、「小松海岸緑地ドッグラン」や「小松海水浴場」をはじめとする小松海岸の水辺や海岸景観を活かし、観光・レクリエーション拠点としての環境の充実を図ります。
- 身近な公園の充実及び利用促進を図ります。
- 主要幹線道路沿道・河川周辺・公共施設の緑化を推進し、住宅地と田園集落の緑の保全を進めます。
- 小松海岸は、自然環境を保全するとともに、人工護岸の背後部の緑の保全・育成を行います。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 河川等の水質保全を図るため、合併処理浄化槽の設置を促進します。
- 吉野川は、橋りょうや堤防、沿岸の鉄塔等、雄大な風景に影響のある人工建造物の修景や適切な規制・誘導により自然景観を保全し、河川敷を親水空間として整備します。
- 優良農地、寺社林の保全を図りつつ、公共施設周辺や住宅地、田園・集落の景観づくりを進めます。
- 阿波十郎兵衛屋敷など歴史文化的資源の周辺では、周囲の景観との調和に配慮し、観光資源として活用、にぎわいの創出を図ります。
- 小松海岸は、小松風致地区の一部に指定されており、海岸景観の保全のために、周囲の無秩序な開発行為などに対する規制・誘導を適切に行います。

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 吉野川流域での浸水被害の軽減を図るため、本川では堤防等の整備とあわせて土地利用規制、支川では河道掘削、排水施設及び雨水貯留施設の整備等の流域治水対策を進めます。
- 民間施設を津波避難ビルに指定するなど避難場所の確保に努めます。

⑥ 住環境整備の方針

- 無秩序な市街化を防止し、営農環境の保全を図るとともに、既存集落や住宅団地等における住環境の維持・向上に努めます。
- 住宅地や集落周辺部では、細街路・水路等の整備を促進します。
- 道路や公園などへの LED 防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 住民と行政が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしたまちづくりを進めます。

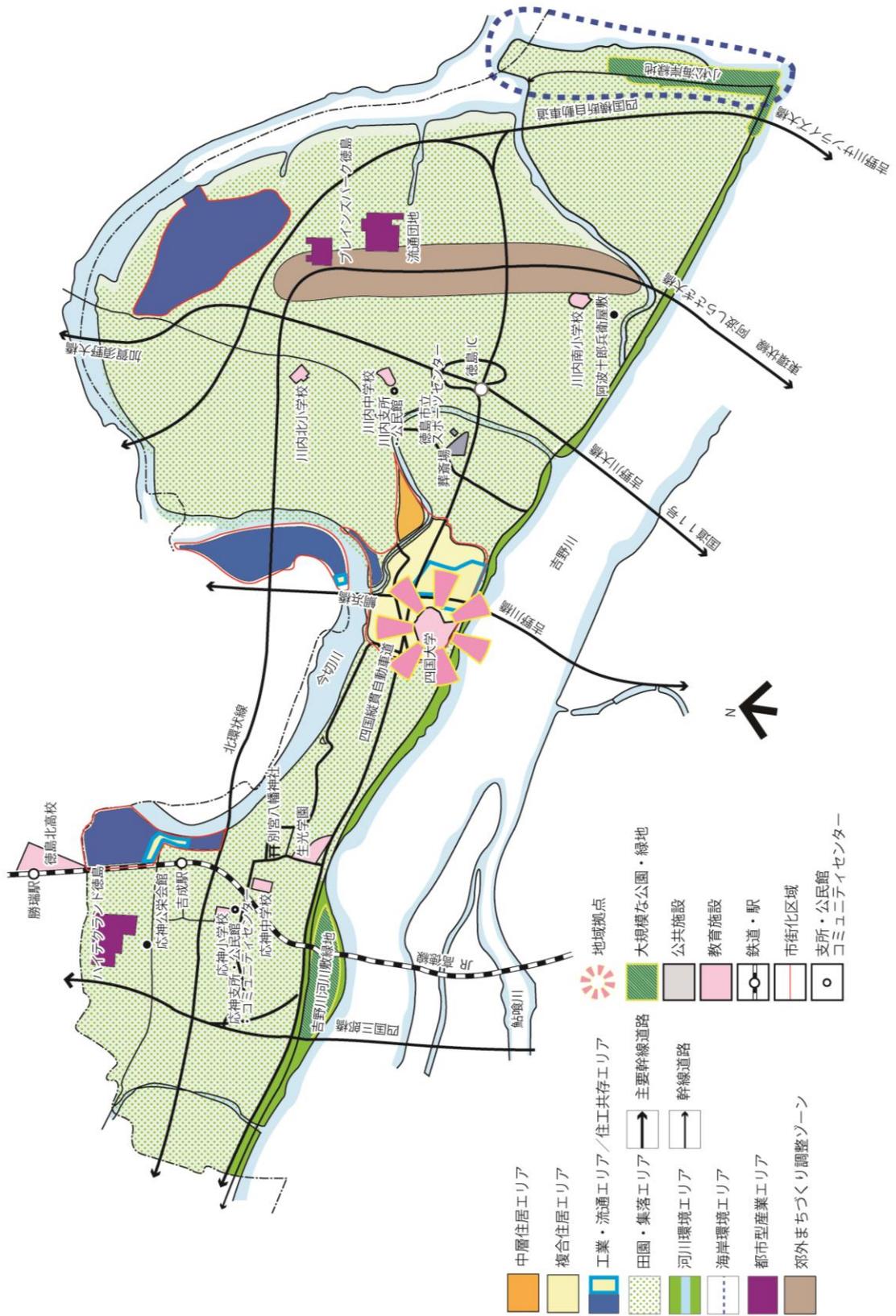


吉野川と吉野川橋



小松海岸緑地ドッグラン

川内・応神地域まちづくり構想図



(2) 国府・不動・北井上・南井上地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

本市の北西部に位置し、国道 192 号、県道徳島鴨島線、県道徳島引田線及び JR 徳島線に沿って市街地が形成されています。地域の北側には吉野川、東側には鮎喰川が流れ、豊かな田園地帯が広がっており、幹線道路として徳島南環状線や徳島西環状線の整備が進んでいます。

また、四国八十八か所の4つの札所をはじめとする寺社群、伝統工芸の阿波しじら織や枝豆、ブロッコリーなど豊富な地域資源や特産物が存在しています。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化対策のほか、吉野川南岸堤防（吉野川市、石井町を含む。）が決壊した際の避難対策及び内水氾濫対策が必要な地域です。

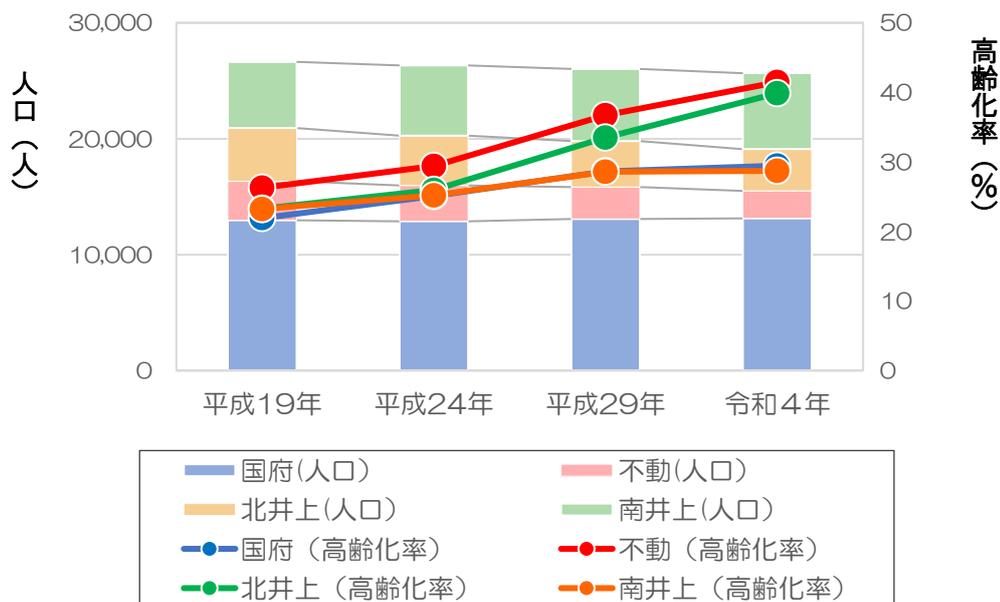
人口密度は市平均よりやや低く、高齢化率は市平均よりやや高くなっています。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
国府	13,131	5,783	29.5	1,480
不動	2,368	1,247	41.5	380
北井上	3,601	1,674	39.9	590
南井上	6,553	2,657	28.7	1,310
合計	25,653	11,361	31.8	980
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和4年1月1日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年1月1日時点）

■主な公共施設

徳島市支所（国府・不動・北井上）、公民館（不動）、コミュニティセンター（国府・不動・北井上・南井上）、児童館（不動・芝原・南井上）、隣保館（西矢野会館・不動文化会館・むつみ会館）、保育所（国府・南井上）、認定こども園（不動・北井上）、府中駅、国府配水池、西部環境事業所、徳島市立食肉センター、徳島市農村環境改善センター、徳島市立考古資料館、西消防署国府出張所

■主な教育施設

幼稚園（国府・南井上）、小学校（国府・不動・北井上・南井上）、中学校（国府・不動・北井上）、徳島県立国府支援学校

■主な地域の資源

札所（常楽寺・国分寺・観音寺・井戸寺）、阿波史跡公園（考古資料館）、気延山、矢野古墳の横穴式石室、以西用水の取水口（月の輪池）、天狗久資料館、こくふ街角博物館、八倉比売神社、天佐自能和気神社、雨降神社、密厳寺、蔵珠院、威徳院、高地蔵、鮎喰川、飯尾川、鮎喰川河川敷緑地

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	<ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域が大部分を占める 一部市街化区域（住居系中心）
都市計画道路 （地域内での整備状況）	<p>【整備済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無し <p>【未整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 徳島南環状線、徳島西環状線、徳島駅鴨島線（国道 192 号）、早淵府中線、観音寺和田線、観音寺延命線（徳島南環状線）
都市計画公園・緑地	<p>【特殊公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿波史跡公園 <p>【街区公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不動東公園 <p>【緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鮎喰川河川敷緑地
その他	<ul style="list-style-type: none"> 鮎喰川都市計画河川、徳島市立食肉センター、徳島市第二清掃工場（西部環境事業所）、特別用途地区（大規模集客施設制限地区）



阿波史跡公園



蔵珠院のまい込み泉（さげえの泉）

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

歴史・文化・自然に囲まれた感性が育まれるまちづくり

- ▶誰もが住みやすいコンパクトな都市を目指し、郊外部での無秩序な市街化を防止し、豊かな田園環境の保全・形成を推進します。
- ▶安全で便利な生活道路を整備し、歩いて暮らせるまちづくりを推進します。
- ▶阿波史跡公園や四国八十八か所の札所をはじめとする寺社群等の歴史文化資源を活かし、誰もが癒される地域を形成します。



まちづくりの方向性

- ① 自然と調和した良好な住環境の形成
- ② 駅中心に歩いて暮らせるまちづくりの推進
- ③ 阿波史跡公園などの歴史文化資源を活かしたにぎわいづくり
- ④ 浸水リスクの軽減による防災まちづくり
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市計画法による区域区分、用途地域等の土地利用規制を基本とし、市街化を促進する地域と優良農地を保全し市街化を抑制する地域に分けて規制・誘導します。
- 府中駅周辺の市街化区域では、生活サービス施設の維持・充実を図り、地域の暮らしを支える拠点の形成を目指します。(地域拠点)
- 指定幹線道路沿道では、周辺環境との調和や景観に配慮し規制・誘導します。
- 市街化調整区域では、無秩序な開発の防止に努めます。徳島南環状線及び徳島西環状線の整備により市街化が進むことが予想される地域は、地区計画制度の活用により秩序ある土地利用を維持しつつ運用してきましたが、コンパクトシティのさらなる推進に向けて、一定の移行期間を伴う廃止を視野に入れた検討を行います。(郊外まちづくり調整ゾーン)

② 都市交通体系の方針

- 徳島南環状線及び徳島西環状線の整備を推進し、幹線道路ネットワークの構築を進めます。
- 生活を支えるバス路線は、将来にわたって持続可能な公共交通の維持に向けて整理・再編に取り組みます。
- 地域拠点では、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」まちづくりを推進します。
- 府中駅は、交通結節点としての環境整備に努めます。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- 阿波史跡公園では、自然や歴史を体験できる環境を活かすとともに、周辺の古墳群などの歴史資源との連携を図ることにより、歴史文化をテーマとした観光・レクリエーション拠点として機能の充実を図ります。
- 主要幹線道路沿道・河川周辺・公共施設の緑化を推進し、住宅地と田園集落の緑の保全を進めます。
- 吉野川、鮎喰川、飯尾川、逆瀬川、赤池川等の水辺の保全と鮎喰川河川敷緑地等の有効活用を進めます。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 河川等の水質保全を図るため、合併処理浄化槽の設置を促進します。
- 優良農地、寺社林の保全を図りつつ、公共施設周辺や住宅地、田園・集落の景観づくりを進めます。

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 吉野川流域での浸水被害の軽減を図るため、本川では堤防等の整備とあわせて土地利用規制、支川では河道掘削、排水施設及び雨水貯留施設の整備等の流域治水対策を進めます。
- 民間施設を津波避難ビルに指定するなど避難場所の確保に努めます。

⑥ 住環境整備の方針

- 無秩序な市街化を防止し、営農環境の保全を図るとともに、既存集落や住宅団地等における住環境の維持・向上に努めます。
- 住宅地や集落周辺部では、細街路・水路等の整備を促進します。
- 道路や公園などへのLED防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。
- 竜王団地は良好な住環境を形成していることから、住環境の維持・向上に努めます。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 住民と行政が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしまちづくりを進めます。



四国三郎橋



井戸寺

国府・不動・北井上・南井上地域まちづくり構想図



(3) 入田・上八万地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

本市の西部に位置し、鮎喰川、園瀬川と山地・丘陵地に囲まれた農林業を中心とする地域で、全域、市街化調整区域になっています。また、植木の生産が盛んであり、一宮神社、大日寺、一宮城跡などの歴史文化資源も豊富です。

昭和 50 年代には、しらすぎ台など大規模な住宅団地が整備され、本市の定住促進に貢献してきました。現在、徳島南環状線が整備中で、市街地への交通利便性が高まることが考えられます。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化対策のほか、鮎喰川及び園瀬川の無堤地域では洪水対策が必要な地域です。

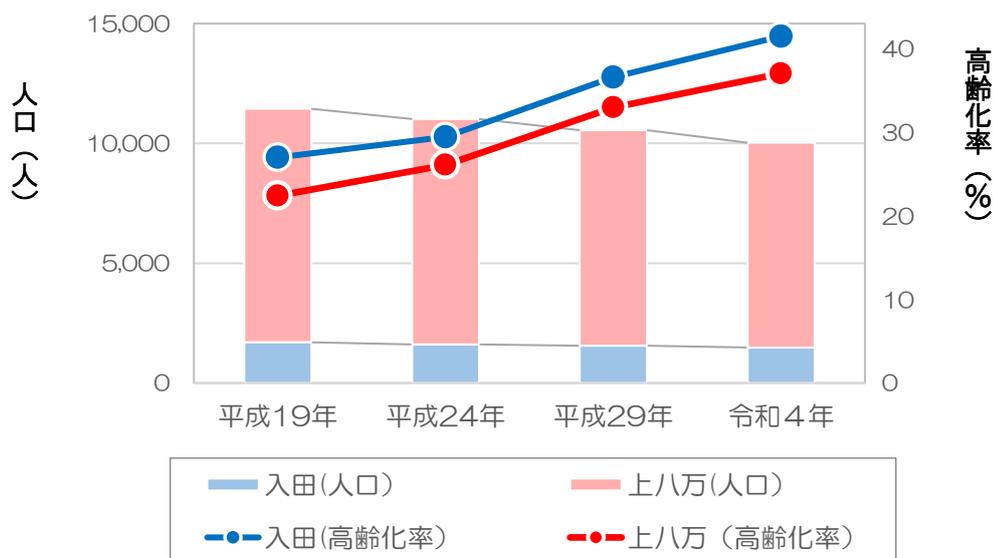
人口密度は市平均を大きく下回り、高齢化率は市平均より高くなっています。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
入田	1,485	780	41.5	130
上八万	8,545	3,950	37.0	420
合計	10,030	4,730	37.7	310
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和4年1月1日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年1月1日時点）

■主な公共施設

徳島市支所（入田・上八万）、コミュニティセンター（入田・上八万・一宮）、児童館（上八万・一宮）、隣保館（一宮会館）、保育所（一宮・明善）、一宮配水場、徳島市球技場、徳島市しらすぎ台まちづくり活動センター、徳島刑務所、徳島市ライフル射撃場

■主な教育施設

幼稚園（入田・上八万）、小学校（入田・上八万・一宮）、中学校（入田・上八万）

■主な地域の資源

札所（大日寺）、一宮城跡、建治寺と建治の滝、春日の大樟、園瀬川、鮎喰川、一宮神社と太鼓橋、宅宮神社と神踊り、ゴルフ場（2箇所）

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	・市街化調整区域
都市計画道路 （地域内での整備状況）	【未整備】 ・徳島南環状線
都市計画公園・緑地	・無し
その他	・地区計画（しらすぎ台地区）



鮎喰川



大日寺と一宮神社

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

緑と歴史が息づく安全で人にやさしいまちづくり

- ▶ 豊かな自然環境や農村環境を保全するとともに、歴史文化資源や周辺地域の大規模公園等と連携した交流・レクリエーションが活発に行われる地域を形成します。
- ▶ 治安が良く、災害に強い、安全で人にやさしいまちづくりを推進します。



まちづくりの方向性

- ① 緑豊かな田園環境を活かしたゆとりある住環境の形成
- ② 一宮城跡などの歴史文化資源を活用した地域の活性化
- ③ スポーツ拠点を核としたにぎわいづくり
- ④ 人にやさしい、安全・安心なまちの実現
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 全域が市街化調整区域であり、農村環境を保全し市街化を抑制することを基本とし、地域の活力や地域コミュニティの維持・向上のための計画的で良好な居住環境を形成します。
- 地域住民によって保全活動が実施されている一宮神社、大日寺、一宮城跡周辺は、この一帯を地域のシンボリックな存在として保全、活用します。
- 歴史文化資源の活用により、交流の場づくりを進めます。

② 都市交通体系の方針

- 徳島南環状線及び国道 438 号の整備を進めます。
- 生活を支えるバス路線は、将来にわたって持続可能な公共交通の維持に向けて整理・再編に取り組みます。
- 上八万地区で運行している「上八万コミュニティバス」の運行・維持を支援します。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- 入田・上八万地域に隣接して整備された徳島県文化の森総合公園、徳島市総合動植物公園、阿波史跡公園の観光・レクリエーション拠点や神山森林公園（神山町）をつなぐ道路や河川沿いの空間等を活用しながら、周辺の住民と公共施設管理者との協働により形成します。
- 主要幹線道路沿道・河川周辺・公共施設の緑化を推進し、住宅地と田園集落の緑の保全を進めます。
- 入田地区は江戸時代から植木・苗木・盆栽などの生産が盛んに行われ、本市の緑化運動を進めるためにも重要な地域であり、特徴ある地域として保全します。
- 鮎喰川や園瀬川などの水辺の保全と景観整備の誘導を進め、ホタルの里等として再生に努めます。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 河川等の水質保全を図るため、合併処理浄化槽の設置を促進します。
- 自然景観の保全を基本とし、自然との調和を損なうような大規模な開発を抑制します。

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 吉野川流域での浸水被害の軽減を図るため、本川では堤防等の整備とあわせて土地利用規制、支川では河道掘削、排水施設及び雨水貯留施設の整備等の流域治水対策を進めます。
- 吉野川水系では、河道掘削、樹木伐採による河道断面の確保をはじめ、無堤地区における堤防整備及び排水機場整備等のハード対策、水害リスク情報空白域解消に向けた取組の実施等をソフト対策とした流域治水対策を行い、発災時の被害軽減や住民の確実な避難促進を図ります。

⑥ 住環境整備の方針

- 緑豊かな農村環境を保全しながら、農村集落周辺の細街路・水路等の整備を促進し、住環境の維持・向上に努めます。
- しらさぎ台やセンチュリーヒルズは良好な住環境を形成していることから、住環境の維持・向上に努めます。
- 道路や公園などへのLED防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 住民と行政が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしまちづくりを進めます。



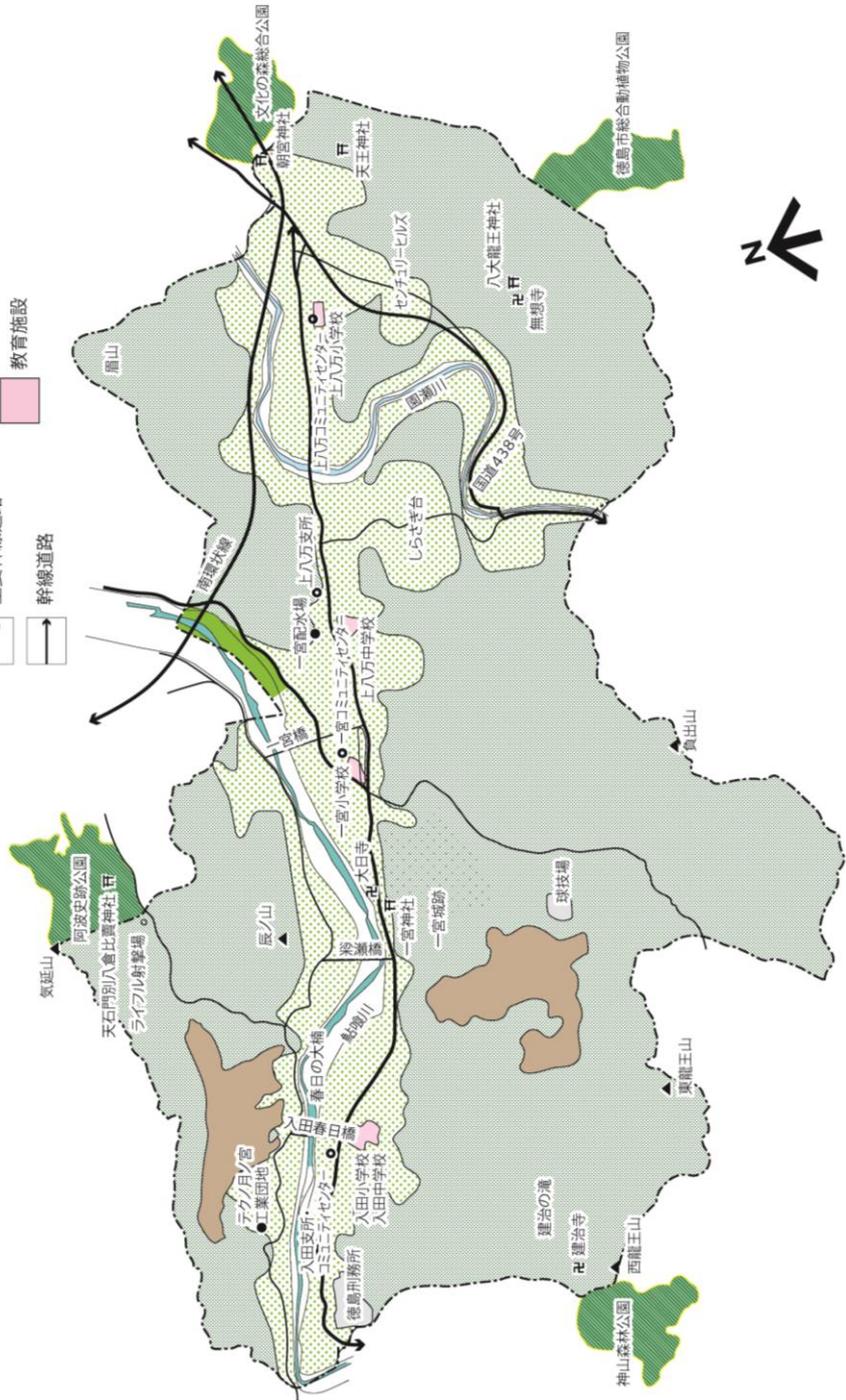
一宮城跡



徳島市球技場

入田・上八万地域まちづくり構想図

- 田園・集落エリア
- 河川環境エリア
- 森林・里山エリア
- 主要幹線道路
- 幹線道路
- ゴルフ場
- 公園・緑地
- 大規模な公園・緑地
- 公共施設
- 教育施設
- 支所・コミュニティセンター
- 寺院
- 神社



(4) 多家良地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

本市の南部に位置し、周囲を山地・丘陵地に囲まれた農村地域で、全域、市街化調整区域になっています。東西に流れる八多川、多々羅川、仕出川、南北に流れる勝浦川沿いに集落が分布し、丈六寺周辺には大規模な住宅団地が整備されています。

また、徳島市内で最も標高の高い中津峰山系には森林公園や五滝、丈六寺周辺にはせせらぎロード、勝浦川周辺には鳴滝・七釜（滝）などの自然資源があり、犬飼農村舞台・渋野丸山古墳・丈六寺などの歴史文化資源に恵まれています。さらに、観光・レクリエーション拠点として、総合動植物公園が整備され、年間を通して様々なイベントが行われています。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化対策ほか、八多川及びその支流の洪水対策が必要な地域です。

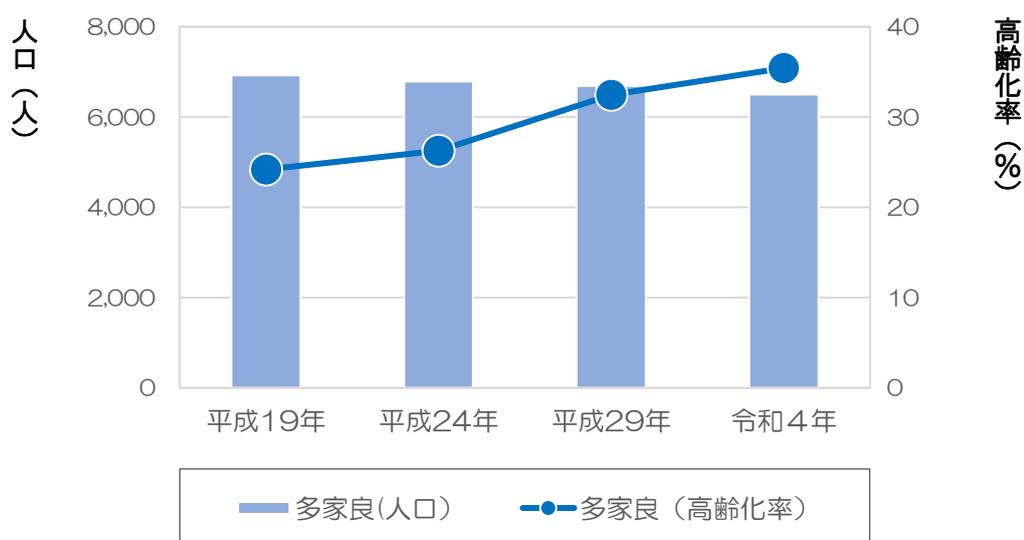
人口密度は市平均を大きく下回り、高齢化率は市平均より高くなっています。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
多家良	6,496	2,770	35.4	170
合計	6,496	2,770	35.4	170
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和4年1月1日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年1月1日時点）

■主な公共施設

徳島市支所（多家良）、公民館（多家良中央・渋野・飯谷）、コミュニティセンター（多家良中央・丈六）、児童館（多家良中央）、保育所（多家良・丈六・飯谷・渋野）、徳島市総合動植物公園

■主な教育施設

小学校（渋野・宮井）

■主な地域の資源

徳島市総合動植物公園、犬飼農村舞台、丈六寺、渋野丸山古墳、中津峰山、中津峰如意輪寺、中津峰森林公園、速雨神社、五滝、鳴滝、七釜溪谷、朝立彦神社、お亀池、勝浦川

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	・市街化調整区域
都市計画道路	・無し
都市計画公園・緑地	【特殊公園】 ・徳島市総合動植物公園
その他	・無し



犬飼農村舞台



丈六寺

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

豊かな自然に囲まれた緑と清流の里山づくり

- ▶ 農山村集落における生活環境を維持・向上します。
- ▶ 豊かな自然や歴史文化資源、田園環境等を活かしたゆとりある住環境を維持します。
- ▶ 徳島市総合動植物公園など、訪れる人誰もが癒される魅力ある公園・里山を活かした地域を形成します。



まちづくりの方向性

- ① 水と緑の田園環境を活かしたゆとりある住環境の形成
- ② 犬飼農村舞台や渋野丸山古墳などの歴史文化資源を活かしたにぎわいづくり
- ③ 豊かな自然を活用したアウトドアスポーツの里
- ④ 人にやさしい、安全・安心なまちの実現
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 全域が市街化調整区域であり、農村環境を保全し市街化を抑制することを基本とし、地域の活力や地域コミュニティの維持・向上のための計画的で良好な居住環境を形成します。
- 農地の保全に努めるとともに、市民農園としての利用など、新たな活用について検討します。

② 都市交通体系の方針

- 他の地域とのアクセスを確保する道路整備に努めます。
- 生活を支えるバス路線は、将来にわたって持続可能な公共交通の維持に向けて整理・再編に取り組みます。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- 丈六寺や犬飼農村舞台周辺の森林を保全します。
- 中津峰山周辺には、中津峰森林公園をはじめとして様々な観光資源があるため、これらを散策できるルートの整備を進めます。
- 主要幹線道路沿道・河川周辺・公共施設の緑化を推進し、住宅地と田園集落の緑の保全を進めます。
- 勝浦川、八多川、多々羅川の水辺の保全と活用（河川沿いの散策ルートや河川敷の活用など）に努めます。
- 市民の憩いの水辺として利用されている勝浦川河川敷周辺は、レクリエーション施設等の整備を検討します。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 河川等の水質保全を図るため、合併処理浄化槽の設置を促進します。
- 自然景観の保全を基本とし、自然との調和を損なう大規模な開発等を抑制します。
- 公共施設周辺や県道沿線、河川沿いの景観整備・誘導、農村地域、住宅地の田園を活用した景観づくり、犬飼農村舞台周辺や丈六寺周辺の景観づくりを進めます。

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 勝浦川水系では、河道掘削、樹木伐採による河道断面の確保をはじめ、排水路の改良等のハード対策、水害リスク情報空白域解消に向けた取組の実施等をソフト対策とした流域治水対策を行い、発災時の被害軽減や住民の確実な避難促進を図ります。

⑥ 住環境整備の方針

- 緑豊かな農村環境を保全しながら、農村集落周辺の細街路・水路等の整備を促進し、住環境の維持・向上に努めます。
- 丈六団地は良好な住環境を形成していることから、住環境の維持・向上に努めます。
- 道路や公園などへのLED防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 住民と行政が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしたまちづくりを進めます。



八多の五滝



鳴滝

多家良地域まちづくり構想図



- | | |
|--|--|
|  田園・集落エリア |  大規模な公園・緑地 |
|  森林・里山エリア |  公共施設 |
|  主要幹線道路 |  教育施設 |
|  幹線道路 |  鉄道・駅 |
| |  支所・公民館
コミュニティセンター |
| |  寺院 |
| |  神社 |

(5) 昭和・津田地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

本市の東部に位置し、都心に隣接する昭和地区と漁港のある津田地区に分かれています。県庁前から小松島市へ至る県道 120 号（徳島小松島線）沿いに商業系、新町川沿い及び臨海部に工業系の土地利用が見られ、その他の地域はほとんどが住宅地になっており、既存の住宅地では狭あいな道路が多くみられます。

津田地区では、四国横断自動車道の徳島沖洲インターチェンジから徳島津田インターチェンジまでが令和 3 年（2021 年）3 月に開通したことから交通結節点を活かした新たな企業誘致などによる産業業務拠点としての役割が期待され、徳島県において平成 28 年（2016 年）に「津田地区活性化計画」が策定されています。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化や津波被害の対策のほか、沿岸部の高潮及び内水氾濫対策が必要な地域です。

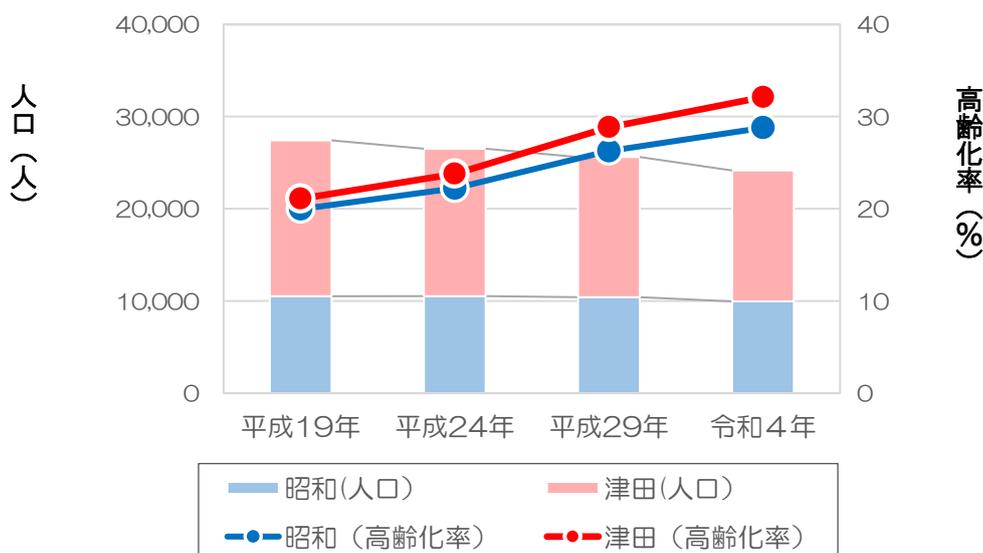
人口密度は市平均を大きく上回り、高齢化率は市平均とほぼ同じです。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
昭和	9,959	5,212	28.8	4,820
津田	14,201	7,061	32.1	2,970
合計	24,160	12,273	30.7	3,530
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和 4 年 1 月 1 日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年 1 月 1 日時点）

■主な公共施設

徳島市支所（津田）、コミュニティセンター（昭和・津田）、児童館（昭和・津田）、保育所（昭和・津田）、徳島県庁、徳島県警察本部、中央浄化センター、徳島市勤労者体育館、徳島県中央こども女性相談センター、東消防署津田出張所

■主な教育施設

幼稚園（昭和・津田）、小学校（昭和・津田）、中学校（富田・津田）

■主な地域の資源

新町川、川の駅、万代中央ふ頭、県庁、ケンチョピア、昭和町公園の桜、大西公園、塩釜神社、園瀬川・干切山川の土手一帯、津田山、津田の盆踊り、津田砲台場跡、海から津田の松林を望む風景、紀伊水道、木材工業団地、八幡神社、漁港

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	・市街化区域（住居系中心、臨海部・川沿いが工業系、県道沿い等一部に商業系）
都市計画道路 （地域内での整備状況）	【整備済】 ・かちどき橋橋線（国道 55 号）、津田御亀線、新浜本町横須線、東環状側道 1 号線、東環状側道 2 号線 【未整備】 ・阿南鳴門線（四国横断自動車道）、徳島東環状線、住吉万代園瀬橋線、新浜西部線、昭和町大道線、二軒屋駅新浜線、津田新浜本町線、富田中央通線、万代浜側線、北浜東浜線、新浜東山手線
都市計画公園・緑地	【街区公園】 ・昭和町公園、南昭和公園、新浜公園、干切山公園 【近隣公園】 ・大西公園
その他	・臨港地区、戦災復興土地区画整理事業、公共下水道中央処理区（昭和地区）、中央浄化センター、特別用途地区（大規模集客施設制限地区）



ケンチョピアの夕景



津田山

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

安全で快適な暮らしと産業活動が共存するまちづくり

- ▶ 広域交通ネットワークの整備により交通利便性が向上し、幹線道路沿いや臨海部に、商業や工業の集積を図ります。
- ▶ 地域内を流れる河川や津田山等の魅力ある自然資源を活かしたうるおいのある地域を形成します。
- ▶ 今後起こりうる災害への対策を強化し、安全・安心で快適な住環境を整備します。



まちづくりの方向性

- ① 生活利便性の充実と快適な住環境の推進
- ② 広域交通ネットワークを活かした持続可能な産業活動の推進
- ③ 万代中央ふ頭など水辺を活かしたにぎわいづくり
- ④ 地域防災力を高め、洪水や津波に強いまちづくり
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市計画法による区域区分、用途地域等の土地利用規制を基本とし、適正な土地利用を誘導します。
- 県道120号沿道を中心に、生活サービス施設の維持・充実を図り、地域の暮らしを支える拠点の形成を目指します。(地域拠点)
- 徳島小松島港・津田地区は、徳島津田インターチェンジに隣接する立地条件を活かして、都市活力の維持・向上を担う拠点として充実を図ります。(産業業務拠点)
- 万代中央ふ頭では、既存倉庫を活用し商業施設等として利用することにより、にぎわい空間の創出を図るとともに親水空間の整備を進めます。

② 都市交通体系の方針

- 四国横断自動車道の整備促進、徳島東環状線及び内環状道路の整備を推進するとともに、未整備の都市計画道路の整備及び市道の改良に努めます。
- 徳島東環状線の整備に伴い、バス路線の整理・再編を検討することにより利便性のさらなる向上を図ります。
- 既存の道路空間の再配分による自転車・歩行者空間を確保します。
- 地域拠点では、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」まちづくりを推進します。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- 地域住民に親しまれる水辺環境の創出に努め、新町川の水辺の遊歩道・親水公園等の整備や御座船入江川等の河川沿いの緑化を検討します。
- 津田公園の緑化の充実、四国横断自動車道の整備とあわせた公園・緑地の確保、幹線道路や公共施設・住宅地等の緑化、津田山の緑の保全に努めます。
- 多々羅川沿いは、水辺のレクリエーションゾーンとして親水公園や遊歩道の整備、緑化を進めます。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 河川等の水質保全を図るため、公共下水道区域では既存施設の耐震・耐津波、耐水、老朽化対策を適宜実施し、公共下水道区域外では合併処理浄化槽の設置を促進します。
- 公共施設周辺の景観づくり、住宅地の緑化・景観誘導等を進めるとともに、津田山など地域のシンボルとなる景観資源の保全や活用について検討します。
- 河川周辺や国道 55 号沿道は、都心部との連続性を考慮した景観の形成・誘導を進めます。

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 民間施設を津波避難ビルに指定するなど避難場所の確保に努めます。
- 地域と学校が連携し、地域の防災意識向上等に取り組みます。

⑥ 住環境整備の方針

- 木造密集住宅地をはじめ、既存の市街地、漁港周辺等における市街地の安全性や快適性の向上を図るため、細街路や排水路、公園等の整備を促進します。
- 道路や公園などへのLED防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 住民と行政が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしまちづくりを進めます。



津田中学校 防災活動

万代中央ふ頭

(6) 渭北・渭東・沖洲地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

本市の東部、吉野川の南岸河口部に位置し、徳島東環状線の整備が進んでいるほか、臨海部にはマリニピア沖洲、四国横断自動車道の徳島沖洲インターチェンジが整備されるなど、広域交通と海上交通の結節点です。

徳島東環状線と県道 38 号が交差する場所で、県道沿いに商業地が立地し、その周辺に住宅地が形成されています。また、都心に隣接し徳島大学をはじめ多くの教育施設が立地しています。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化や津波被害の対策のほか、沿岸部の高潮及び内水氾濫対策が必要な地域です。

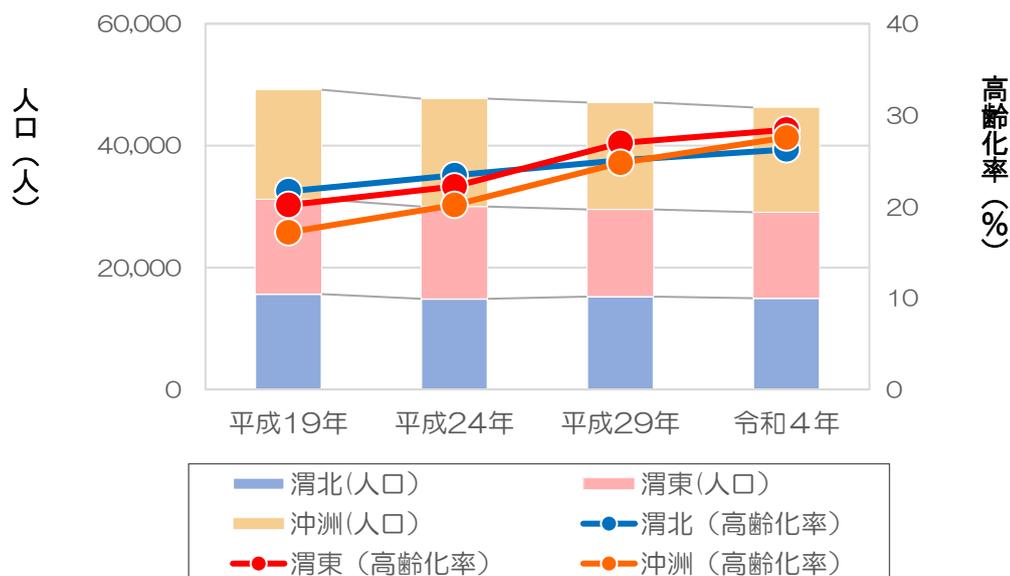
人口密度は市平均を大きく上回り、高齢化率は市平均よりやや低くなっています。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
渭北	14,974	7,279	26.2	4,140
渭東	14,102	7,266	28.4	4,710
沖洲	17,191	8,296	27.6	2,620
合計	46,267	22,841	27.4	3,510
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和4年1月1日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年1月1日時点）

■主な公共施設

徳島市支所（沖洲）、公民館（渭東・住吉城東）、コミュニティセンター（渭北・渭東・住吉城東・沖洲）、児童館（渭東・住吉城東・沖洲）、保育所（渭東）、徳島市民病院、徳島市中央卸売市場、北部浄化センター、徳島市民吉野川運動広場、徳島河川国道事務所、沖洲マリナーミナル、徳島県東部県土整備局、徳島県立中央テクノスクール、徳島県立文学書道館

■主な教育施設

幼稚園（助任・城東・福島・鳴門教育大学附属）、小学校（助任・城東・福島・沖洲・鳴門教育大学附属）、中学校（徳島・城東・鳴門教育大学附属）、高校（徳島市立・徳島商業・香蘭）、鳴門教育大学附属特別支援学校、徳島大学（常三島キャンパス）、適応指導推進施設（すだち学級）

■主な地域の資源

吉野川（河川敷緑地・河口の干潟）、助任川（河岸緑地・徳島大学南の柳並木・藩政の松並木）、助任緑地（蜂須賀家墓所）、大岡川（桜）、新町川、新町樋門（新町川水門）、川の駅、四所神社（船だんじり・船だんじり太鼓）、福島小学校正門前の道路沿いの緑地、末広大橋、福島橋、みなと公園、沖洲公園の松林（根上がりの松）、海から沖洲の松林を望む風景、狸の祠巡り

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域（住居系中心、臨海部・新町川沿いが工業系、国道11号及び県道徳島鴨島線沿い等一部に商業系） 一部市街化調整区域
都市計画道路 （地域内での整備状況）	<p>【整備済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿南鳴門線（四国横断自動車道）、かちどき橋鳴門線（国道11号）、常三島沖洲線、末広沖洲線、元浦沖浦線、吉野本町常三島線、住吉末広線 <p>【未整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 吉野川橋通線、徳島東環状線、住吉万代園瀬橋線、常三島中島田線（田宮街道）、元町沖洲線、安宅末広東部線、吉野本町北佐古線、常三島住吉線、東吉野町北沖洲線
都市計画公園・緑地	<p>【街区公園】蛭子公園、末広公園、安宅公園</p> <p>【緑地】助任緑地、福島住吉緑地、吉野川河川敷緑地</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道北部処理区、北部浄化センター、中央卸売市場、トラックターミナル、常三島土地区画整理事業、準防火地域、臨港地区、特別用途地区（大規模集客施設制限地区）

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

水辺空間と広域交通ネットワークを活かしたまちづくり

- ▶ 地域の特色にあわせた魅力ある水辺空間を整備・保全し、明るく清潔なまちなみを創出することにより歩いて楽しいまちを形成します。
- ▶ 生活基盤やまちなみの整備による快適な住環境を推進します。
- ▶ 今後起こりうる災害への対策を強化し、安全・安心で快適な住環境を整備します。



まちづくりの方向性

- ① 生活利便性の充実と快適な住環境の推進
- ② 魅力ある水辺空間を活かした地域景観の創出
- ③ 広域交通ネットワークと海上交通を活用した地域活性化
- ④ 安全・安心で、水災害に強いまちづくり
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市計画法による区域区分、用途地域等の土地利用規制を基本とし、市街化を促進する地域と優良農地を保全し市街化を抑制する地域に分けて規制・誘導します。
- 県道 38 号沿道を中心に、生活サービス施設の維持・充実を図り、地域の暮らしを支える拠点の形成を目指します。(地域拠点)
- マリンピア沖洲は、徳島沖洲インターチェンジの整備により広域交通と海上交通の結節点となっていることを活かして、都市活力の維持向上を担う拠点として充実を図ります。(産業業務拠点)

② 都市交通体系の方針

- バス路線の整理・再編を検討することにより利便性の向上を図ります。
- 既存の道路空間の再配分による自転車・歩行者空間を確保します。
- 地域拠点では、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」まちづくりを推進します。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- 主要幹線道路や住宅地の緑化等を促進するとともに、四国横断自動車道の整備とあわせた公園・緑地の確保を進めます。
- 北部浄化センター等、マリニピア沖洲内の施設の緑化を促進します。
- 新町川・助任川・大岡川等の親水空間の整備充実を図るとともに、水辺を活かしたうるおいと安らぎのあるまちなみを形成します。
- 吉野川の干潟は、希少種の生息地や鳥類の渡来地として保全していくとともに、広大な河川敷は自然とふれあえる場としての機能を充実させます。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 河川等の水質保全を図るため、公共下水道の整備を推進します。なお、市街化調整区域においては、合併処理浄化槽の設置を促進します。
- 河川や水辺との調和に配慮した公共施設周辺の景観づくり、住宅地の緑化・景観誘導等を進めます。
- 主要幹線道路沿道の建築物等の景観誘導に努めます。
- 徳島沖洲インターチェンジ周辺は、広域交通と海上交通の玄関口にふさわしい景観が形成されるよう規制・誘導に努めます。

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 民間施設を津波避難ビルに指定するなど避難場所の確保に努めます。
- 吉野川流域での浸水被害の軽減を図るため、本川では堤防等の整備とあわせて土地利用規制、支川では河道掘削、排水施設及び雨水貯留施設の整備等の流域治水対策を進めます。

⑥ 住環境整備の方針

- 住宅と工場が混在する地域は、既存の工場等の周辺環境の整備や敷地内の緑化等を誘導し、住環境との調和に努めます。
- 市街地では、細街路や小規模な公園等の整備を促進し、住環境の維持・向上に努めます。
- 道路や公園などへのLED防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。
- 中央卸売市場は、施設の耐震化・老朽化対策に加え、流通の効率化や品質管理水準の高度化等、市場機能の充実により食の安定供給を図るため、市場整備を検討します。
- マリンピア沖洲では、新たなごみ処理施設の整備を進め、環境教育や防災など地域に貢献するための機能も検討します。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 行政と住民が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしたまちづくりを進めます。



助任川と蜂須賀桜



藩政時代の松並木（大岡川）



阿波しらさぎ大橋・吉野川の干潟



助任緑地（蜂須賀家墓所）

渭北・渭東・沖洲地域まちづくり構想図



- 中層住居エリア
- 複合住居エリア
- 都心商業・業務エリア/周辺商業エリア/沿道商業エリア
- 工業・流通エリア/住工共存エリア
- 田園・集落エリア
- 河川環境エリア
- 主要幹線道路
- 幹線道路
- 公園・緑地
- 大規模な公園・緑地
- 公共施設
- 教育施設
- 市街化区域
- 支所・公民館
- コミュニティセンター
- 公園・緑地
- ポンプ場(公共下水道)
- ポンプ場(都市下水道)
- 寺院
- 中心拠点
- 地域拠点

(7) 佐古・加茂・加茂名地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

中心市街地の西部に隣接し、眉山・鮎喰川・新町川に囲まれています。JR 徳島線・高德線が通り、国道 192 号・県道徳島鴨島線（田宮街道）沿道を中心に市街地を形成し、JR 蔵本駅付近には徳島大学病院や県立中央病院が立地しています。

また、旧讃岐街道や旧伊予街道及び万年山の蜂須賀家墓所など歴史文化資源も豊富に分布しています。西部公園、蔵本公園、田宮公園など大規模な公園も多い地域です。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化対策ほか、内水氾濫対策が必要な地域です。

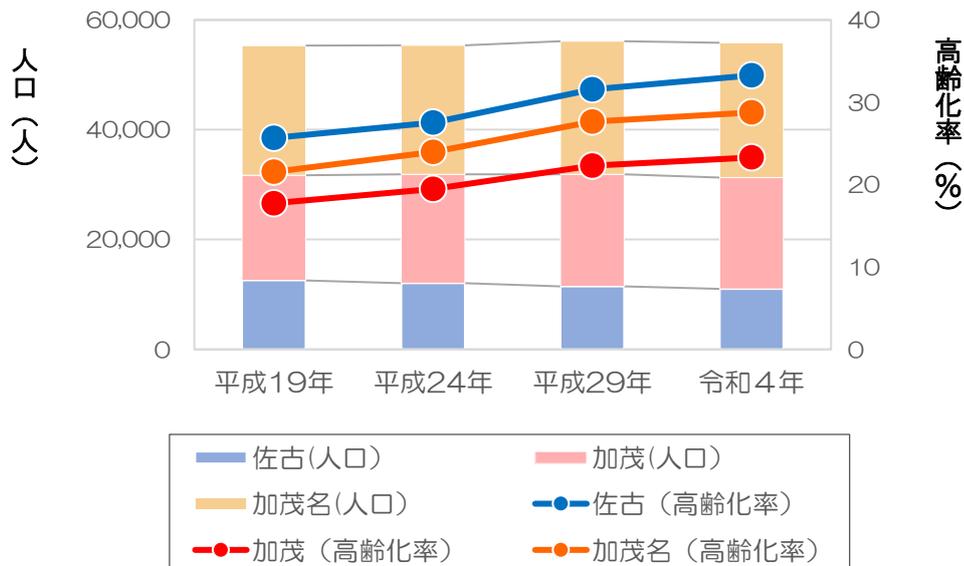
人口密度は市平均を大きく上回り、高齢化率は市平均とほぼ同じです。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
佐古	11,022	5,848	33.3	4,510
加茂	20,275	9,372	23.3	3,740
加茂名	24,575	12,473	28.8	2,620
合計	55,872	27,693	27.7	3,240
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和4年1月1日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年1月1日時点）

■主な公共施設

徳島市支所（加茂・加茂名）、公民館（加茂・加茂名）、コミュニティセンター（佐古・加茂・加茂名）、児童館（佐古・加茂・鮎喰・北島田）、隣保館（加茂名中央会館・島田会館）、保育所（城西・加茂名・名東・北島田）、JR 駅（佐古・蔵本・鮎喰）、徳島県立障がい者交流センター、徳島県自治研修センター、徳島県立中央病院、徳島大学病院、徳島県教育会館、徳島市陸上競技場、徳島市田宮公園プール、徳島市民島田運動広場、徳島県蔵本公園、徳島名西警察署、西消防署、徳島県木材利用創造センター

■主な教育施設

幼稚園（佐古・千松・加茂名・加茂名南）、小学校（佐古・千松・加茂名・加茂名南）、中学校（城西・加茂名・城ノ内・しらさぎ）、高校（城西・城北・城ノ内・徳島中央・徳島科学技術）、徳島大学（蔵本キャンパス）、徳島県立総合看護学校

■主な地域の資源

眉山、万年山（蜂須賀家墓所）、椎宮八幡神社（境内のつつじ）、諏訪神社、峯薬師（法谷寺）、地藏院、葆光庵、豊崎八幡宮、本願寺、八坂神社、佐古配水場、蔵清水、田宮の天神社（千本松）、鮎喰川（河川敷緑地・こんにゃく橋跡）、袋井用水の水源地、蔵本公園、西部公園、徳島県自治研修センター正門の並木、狸の祠巡り

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域（住居系中心、国道 192 号、県道徳島鴨島線沿いが商業系、一部に工業系） 一部市街化調整区域（眉山）
都市計画道路 （地域内での整備状況）	<p>【整備済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 蔵本駅前通線、常三島中島田線（田宮街道）、新町橋通中佐古線、蔵本名田線、徳島駅鴨島線（国道 192 号）、南庄蔵本公園線、田宮公園線、吉野本町北佐古線、高架側道 2 号線、高架側道 3 号線、高架側道 4 号線、高架側道 6 号線、高架側道 7 号線、高架側道 8 号線、高架側道 9 号線 <p>【未整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鮎喰名東線、庄名東線、南庄中島田線、南佐古矢三線、佐古北田宮線
都市計画公園・緑地	<p>【地区公園】 田宮公園</p> <p>【運動公園】 蔵本公園</p> <p>【特殊公園】 西部公園</p> <p>【近隣公園】 椎宮公園</p> <p>【街区公園】 袋井公園、春日公園</p> <p>【緑地】 鮎喰川河川敷緑地、地藏院池緑地、北佐古緑地、佐古駅東緑地、佐古緑地</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 眉山風致地区、鮎喰川都市計画河川、準防火地域、戦災復興土地区画整理事業、公共下水道北部処理区（加茂地区、加茂名地区の一部）、中央処理区（佐古地区、加茂名地区の一部）、特別用途地区（大規模集客施設制限地区）

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

眉山と川に囲まれた歴史文化・商業が調和するまちづくり

- ▶眉山、鮎喰川等の豊かな自然環境、万年山蜂須賀家墓所や寺社などの歴史資源や旧街道のまちなみを保全します。
- ▶都心への近接性や公共交通の利便性が高く、良好な住環境が整備され、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進します。



まちづくりの方向性

- ① 生活利便性の充実と快適な住環境の推進
- ② 公共交通の充実と歩行環境の整備による歩いて暮らせるまちづくり
- ③ 歴史文化・自然・商業が調和するまちづくり
- ④ 安全・安心な、防災・防犯まちづくり
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市計画法による区域区分、用途地域等の土地利用規制を基本とし、市街化を促進する地域と風致地区として眉山の自然環境を保全する地域に分けて規制・誘導します。
- 佐古駅周辺は、都市機能の集積、魅力ある空間形成、まちなか居住の促進などによりにぎわいを創出し、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」拠点の形成を目指します。
(中心拠点)
- 国道192号・県道徳島鴨島線(田宮街道)沿道や蔵本駅周辺は、生活サービス施設の維持・充実を図り、地域の暮らしを支える拠点の形成を目指すとともに、病院が集積している立地を活かし、高度専門医療を提供する拠点の維持・充実を目指します。
(地域拠点)

② 都市交通体系の方針

- 未整備の都市計画道路の整備を進め、交通ネットワークの形成に努めます。
- 循環バスのさらなる利便性の向上を検討し、子どもや高齢者、障害者などの交通弱者に対応した交通網の検討を行います。
- 既存の道路空間の再配分による自転車・歩行者空間を確保します。
- 中心拠点及び地域拠点では、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」まちづくりを推進します。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- 公園や河川敷緑地は、市民のレクリエーションの場として利用を促進します。
- 神社・仏閣・公園等が連続する眉山山麓沿いでは、三島神社から地藏院池緑地までを結ぶ眉山山麓沿いの遊歩道の整備や案内板の設置等を検討します。
- 鮎喰川や田宮川、袋井用水の浄化や緑化を住民と公共施設管理者との協働により推進し、地域に親しまれる水辺の形成に努めます。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 河川の水質保全を図るため、公共下水道区域では既存施設の耐震・耐津波、耐水、老朽化対策を適宜実施し、公共下水道区域外では合併処理浄化槽の設置を促進します。
- 国道 192 号、県道徳島鴨島線（田宮街道）、駅周辺、旧街道沿いの景観形成を進めます。
- 眉山風致地区内の住宅地の緑化を促進します。また、無秩序な開発行為などに対して適切に規制・誘導を行い、稜線や山並みなどの自然環境の保全に努めます。

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 民間施設を津波避難ビルに指定するなど避難場所の確保に努めます。
- 吉野川流域での浸水被害の軽減を図るため、本川では堤防等の整備とあわせて土地利用規制、支川では河道掘削、排水施設及び雨水貯留施設の整備等の流域治水対策を進めます。

⑥ 住環境整備の方針

- 市街化が進行している地域では、細街路や公園、水路等の整備を促進するとともに、住環境の維持・向上に努めます。
- 一部の市街化の進行が緩やかな地域では、農地の有効利用を図りながら、細街路や公園、水路等の整備に努めます。
- 道路や公園などへのLED防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 住民と行政が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしまちづくりを進めます。



袋井用水



万年山（蜂須賀家墓所）

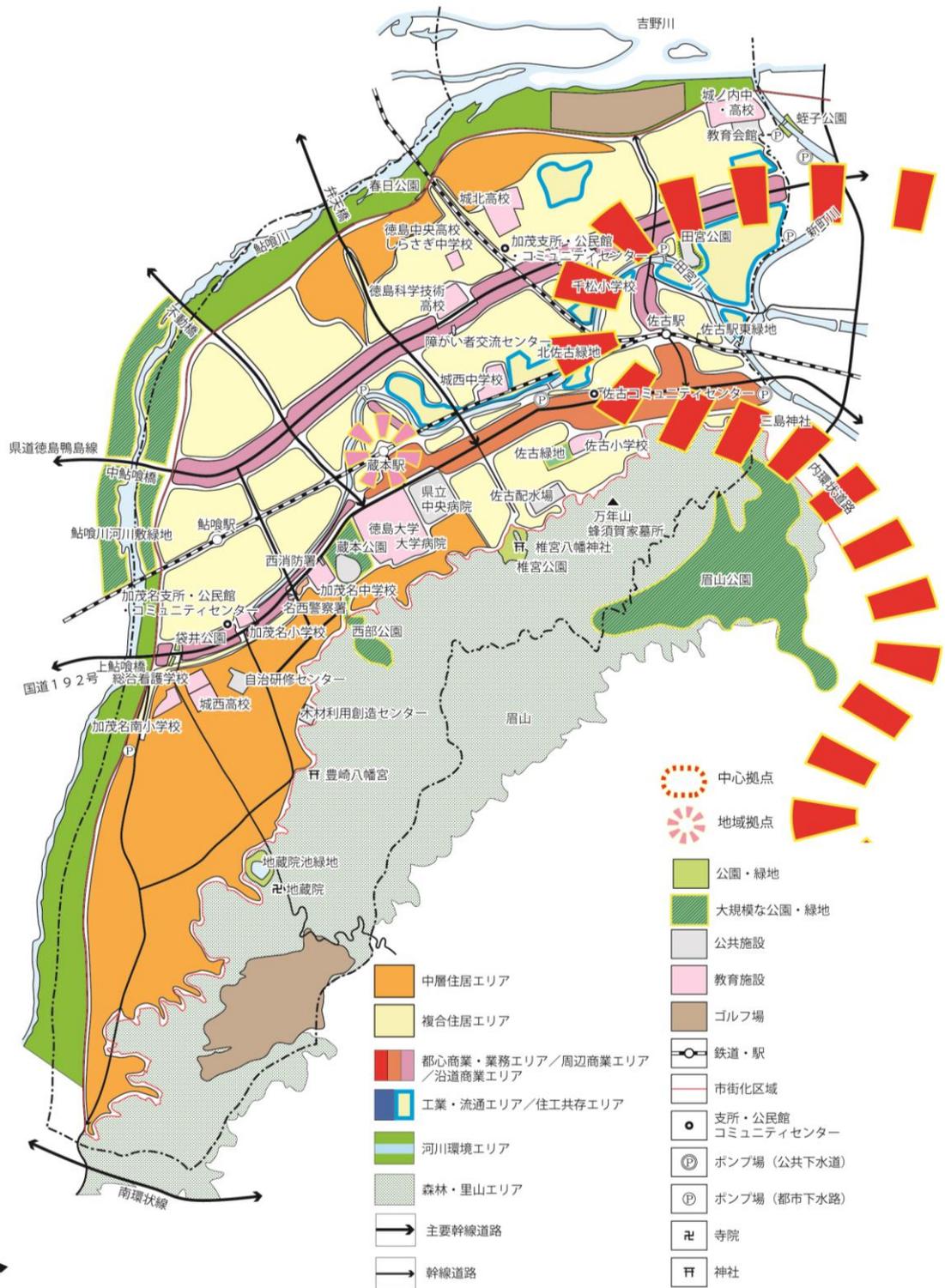


陸上競技場



椎宮八幡神社のつつじ

佐古・加茂・加茂名地域まちづくり構想図



(8) 内町・新町・東富田・西富田地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

本市のほぼ中央に位置し、徳島駅を中心に商業・業務施設が集積し、また、県・市の公共施設が多く立地する地域です。新町川と助任川に囲まれた「ひょうたん島」の愛称で親しまれている地域を中心として、令和4年（2022年）に「徳島市中心市街地活性化基本計画」が策定され、地域の魅力を一層高める取組が進められています。

眉山や新町川、徳島中央公園（徳島城跡）、阿波おどり会館、ひょうたん島クルーズなど多くの観光資源を有し、阿波おどりやとくしまマルシェ、マチ★アソビなどのイベントも行われ、多くの観光客が訪れています。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化や津波被害の対策のほか、新町川流域の高潮及び内水氾濫対策が必要な地域です。

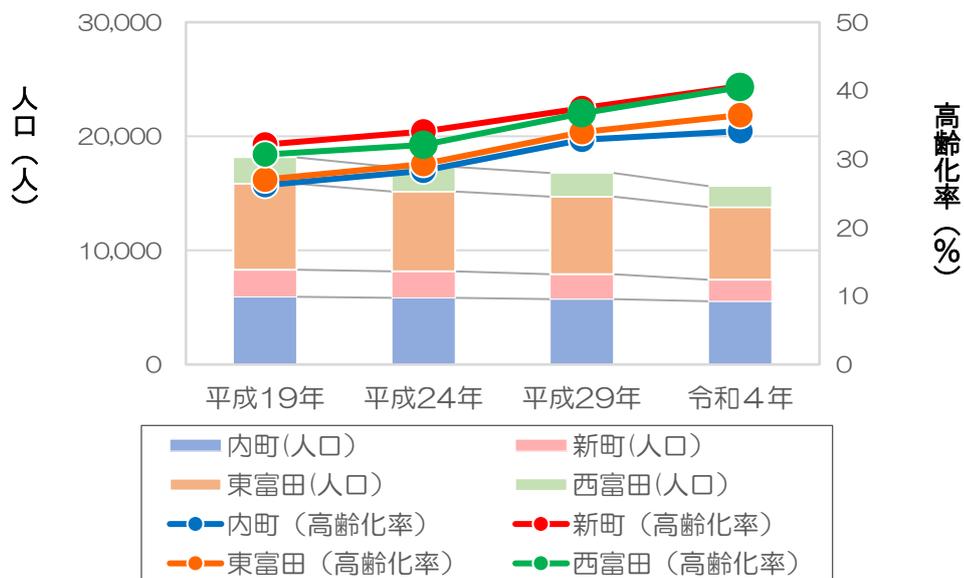
人口密度、高齢化率とも市平均を大きく上回っています。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
内町	5,539	2,963	34.1	3,430
新町	1,889	1,029	40.7	1,660
東富田	6,373	3,743	36.4	2,950
西富田	1,827	1,080	40.5	6,800
合計	15,628	8,815	36.6	3,630
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和4年1月1日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年1月1日時点）

■主な公共施設

徳島市役所、公民館（新町・西富田）、コミュニティセンター（内町・内町アミコ館・東富田・西富田）、児童館（内町・西富田新町）、保育所（内町・富田）、JR 駅（徳島・阿波富田）、徳島中央公園（徳島城跡）、徳島城博物館、新町川水際公園、徳島市立体育館、阿波おどり会館、眉山ロープウェイ、徳島市消防局、徳島市立図書館、徳島市シビックセンター、徳島市男女共同参画センター、徳島市消費生活センター、徳島市産業支援交流センター、広域観光案内ステーション、徳島税務署、徳島地方法務局、徳島地方裁判所・家庭裁判所、徳島地方検察庁、徳島中央警察署、徳島保健所、徳島県青少年センター、徳島県郷土文化会館

■主な教育施設

幼稚園（富田）、小学校（内町・新町・富田）、高校（城東）

■主な地域の資源

阿波おどり（阿波おどり会館・演舞場）、ひょうたん島周遊船、川の駅、新町川（水際公園・ボードウォーク・マルシェ・燈籠流し・SUP）、助任川、眉山（ロープウェイ・山頂からの風景）、徳島駅前から阿波おどり会館までの緑地帯、徳島中央公園（城山・徳島城跡・表御殿庭園・鷺の門）、事代主神社のえびす祭り、幸町公園、マチ★アソビ、東新町等のアーケード街、銀座オープンモール、ろくえもん通り、錦竜水、鳳翔水、瑞巖寺、大滝山、寺町一帯の町並み、三河家住宅、原田家住宅、八幡神社と国端彦神社の境内、紺屋町のシンボルロード、栄町・秋田町の歓楽街、モラエス通り、金刀比羅神社と秋祭り、狸の祠巡り

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域（商業系中心） 一部市街化調整区域（眉山）
都市計画道路 （地域内での整備状況）	<p>【整備済】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新町橋通線、吉野川橋通線、かちどき橋鳴門線（国道 11 号）、新町橋通南二軒屋線、元町沖洲線、かちどき橋橋線（国道 55 号）、春日橋通線、新浜東山手線、徳島駅鴨島線（国道 192 号）、徳島駅西須賀線、中洲南部線、富田中央通線、中洲中央線、幸町南二軒屋線、高架側道 1 号線、八百屋町新町線、藍場町西大工町線 <p>【未整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和町大道線
都市計画公園・緑地	<p>【総合公園】徳島中央公園</p> <p>【特殊公園】眉山公園、徳島文化公園</p> <p>【地区公園】新町川公園</p> <p>【街区公園】市役所前公園、寺島東公園、幸町公園、東富田公園、伊月町公園、西富田公園、富田中央公園、東山手公園、出来島公園、寺島公園、新蔵公園</p> <p>【緑地】寺町緑地</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 風致地区（眉山・城山）、戦災復興土地区画整理事業、防火地域、準防火地域、駐車場整備地区、公共下水道中央処理区、駐車場（新町地下・藍場町公園・紺屋町地下・徳島駅前広場自転車）、市街地再開発事業（徳島駅前西・新町西）、高度利用地区（徳島駅前西・新町西）、地区計画（徳島本町地区等・東大工町・紺屋町地区等）、特別用途地区（大規模集客施設制限地区）

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

水と緑と歴史に彩られたにぎわいある都心のまちづくり

- ▶多くの文化施設や教育・医療・商業施設、企業が立地し、高次な都市機能の集積を図ります。
- ▶新町川などの水辺や眉山山麓周辺の景観を維持し、歴史文化を発信することにより、多くの人を引きつける魅力ある地域を形成します。
- ▶良好な住環境の保全・形成を図り、都心の魅力を高め、まちなか居住を促進します。



まちづくりの方向性

- ① 徳島駅周辺のにぎわいあるまちづくり
- ② 多世代が便利で暮らしやすいまちなか居住の促進
- ③ 水辺、緑、歴史、文化の魅力あられるまちなか観光、交流空間の充実
- ④ 安全・安心な、防災・防犯まちづくり
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市計画法による区域区分、用途地域等の土地利用規制を基本とし、市街化を促進する地域と豊かな水と緑の環境を保全する地域に分けて規制・誘導します。
- 都市機能の集積、魅力ある空間形成、まちなか居住の促進などによりにぎわいを創出し、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」拠点の形成を目指します。(中心拠点)
- 市街地開発事業や空き家・低未利用地の有効活用により、集客の核となる大規模公共施設などの高次都市機能を誘導します。
- 新町川などの水辺資源や徳島城跡などの歴史文化資源などを活かしたまちなか観光の推進、商店街の活性化などのまちなか回遊を促す環境整備により、多機能で魅力ある中心市街地を形成します。

② 都市交通体系の方針

- 中心市街地の渋滞解消や昭和町大道線の整備に努めます。
- 鉄道高架を推進し、あわせて徳島県が推進する JR 牟岐線への新駅設置にかかる周辺整備を進めます。
- 人の移動をスムーズに行うため、ユニバーサルデザインによる道路整備を進め、既存の道路空間の再配分による自転車・歩行者空間を確保します。
- 徳島駅前広場やその周辺の放置自転車対策を継続して進め、民間事業者とも連携しながら駐輪空間を確保します。
- 中心拠点では、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」まちづくりを推進します。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- ひょうたん島及びその周辺では、新町川・助任川の水辺、徳島中央公園の緑、また、城下町として発展した歴史に触れられる「徳島城博物館」などの観光資源と一体となった空間を活かして、散策や滞留、交流が生まれる環境の充実を図るとともに、眉山の緑との連携を強化します。
- 眉山公園及びその周辺では、麓の「阿波おどり会館」、山頂へと続く「眉山ロープウェイ」や山頂広場などを活かし観光・レクリエーション拠点としての魅力を強化します。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 公共下水道の整備はおおむね完了しており、既存施設の耐震・耐津波、耐水、老朽化対策を適宜実施します。
- 眉山や城山、ひょうたん島、寺町など優れた景観要素をもつ資源を大切に保全し、活用していくための方針を検討します。
- ひょうたん島周辺では、護岸の親水化、河川沿いの遊歩道の整備に加えて、橋りよの修景や周辺の景観形成を進めます。
- 徳島駅から眉山へ続くシンボルゾーンは、中高層建築物が建ち並ぶまちなみ景観の向上により、徳島の顔にふさわしい風格と華やかさやにぎわいを備えた都心景観を創出します。
- 眉山風致地区内の無秩序な開発行為などに対して適切に規制・誘導を行い、稜線や山並みなどの自然環境の保全に努めます。

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 民間施設を津波避難ビルに指定するなど避難場所の確保に努めます。

⑥ 住環境整備の方針

- 周辺環境と調和した中高層住宅の立地誘導、日常生活を支える生活サービスの充実、教育文化施設や幼保連携型認定こども園の整備により、まちなか居住を促進します。
- 民間活力を活用して、都市機能の更新・市街地環境の整備等を推進するとともに、眉山山麓周辺などの地区では良好な住環境の維持・保全に努めます。
- 道路や公園などへのLED防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 住民と行政が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしまちづくりを進めます。

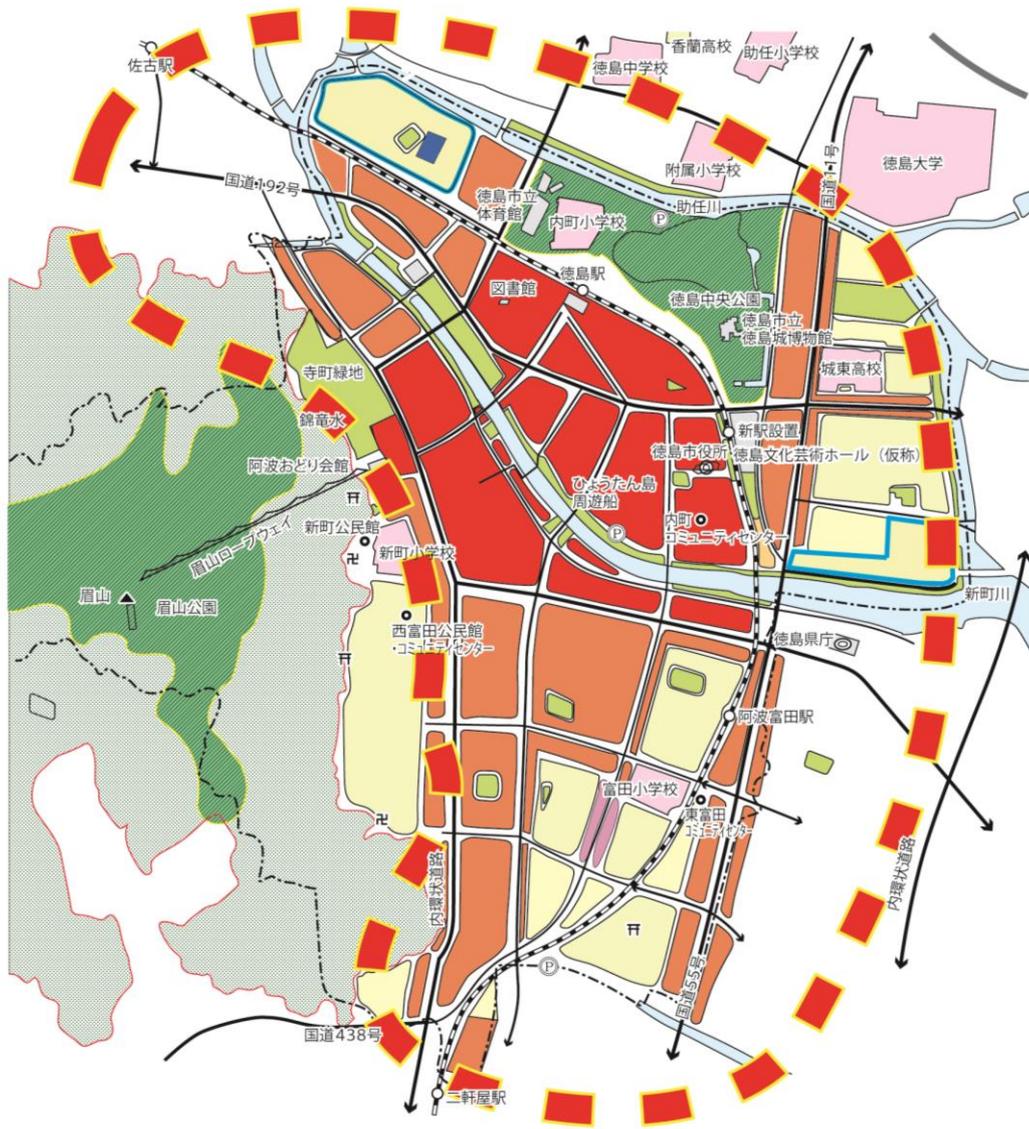


徳島城博物館



阿波おどり会館

内町・新町・東富田・西富田地域まちづくり構想図



- | | | | |
|--|--|---|--|
|  複合住居エリア |  中心拠点 |  公園・緑地 |  寺院 |
|  都心商業・業務エリア／周辺商業エリア／沿道商業エリア |  大規模な公園・緑地 |  公共施設 |  神社 |
|  工業・流通エリア／住工共存エリア |  公共施設 |  教育施設 | |
|  森林・里山エリア |  鉄道・駅 |  市街化区域 | |
|  主要幹線道路 |  公民館・コミュニティセンター |  ポンプ場（公共下水道） | |
|  幹線道路 | | | |

(9) 八万・勝占地域のまちづくり構想

1) 地域の特徴

中心市街地の南部に隣接し、山地や丘陵地、勝浦川・多々羅川・園瀬川等の多くの河川と自然海岸が残る大神子海岸等の魅力ある自然資源を有する地域です。

また、徳島市総合動植物公園、日峯大神子広域公園、徳島県文化の森総合公園等の大規模な公園や、徳島文理大学、アスティとくしま、ふれあい健康館等の多種多様な施設が立地しています。防災面では、南海トラフ地震等による地盤の液状化対策や津波被害の対策のほか、沿岸部の高潮及び内水氾濫対策が必要な地域です。

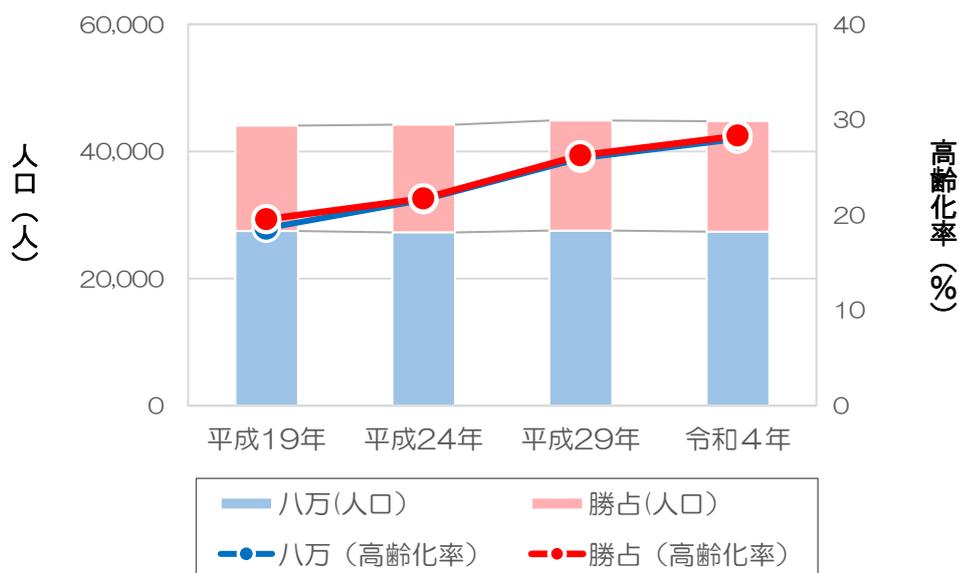
人口密度は市平均よりやや高く、高齢化率は市平均より低くなっています。

■人口・世帯の状況

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	人口密度 (約：人/㎢)
八万	27,393	13,113	28.0	2,380
勝占	17,361	7,578	28.3	1,180
合計	44,754	20,691	28.1	1,710
徳島市	250,723	121,469	29.7	1,310

(令和4年1月1日時点)

■人口及び高齢化率の推移



出典：住民基本台帳（各年1月1日時点）

■主な公共施設

徳島市支所（八万・勝占）、公民館（方上）、コミュニティセンター（八万中央・八万・勝占中部・勝占東部）、児童館（八万中央・勝占東部）、隣保館（明善会館）、保育所（八万東）、認定こども園（勝占）、JR 駅（二軒屋・文化の森・地蔵橋）、東部環境事業所、ふれあい健康館、夜間休日急病診療所、アスティとくしま、徳島ガラススタジオ、徳島市民勝浦川運動広場、徳島市立青少年交流プラザ、徳島市立体操センター、徳島県文化の森総合公園、徳島市総合動植物公園、徳島市 B&G 海洋センター、東消防署勝占分署

■主な教育施設

幼稚園（八万・八万南）、小学校（八万・八万南・大松・方上・論田・徳島文理）、中学校（八万・南部・徳島文理）、高校（城南・徳島文理）、徳島文理大学、徳島県立徳島視覚支援学校、徳島県立徳島聴覚支援学校

■主な地域の資源

徳島県文化の森総合公園、眉山、竹林院、夷山城跡、夷山のまちなみ、園瀬川、大松川・多々羅川の合流した河口部一帯、徳島市総合動植物公園、日峯大神子広域公園、大神子海岸、小神子海岸、東海寺の庭園、勝占神社（秋祭り）、弁天山、あづり越え

■都市計画の現状

区域区分 用途地域	<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域（住居系中心） 一部市街化調整区域
都市計画道路 （地域内での整備状況）	<p>【整備済】</p> <ul style="list-style-type: none"> かちどき橋橋線（国道 55 号）、新町橋通南二軒屋線、南環状側道 1 号線、南環状側道 2 号線 <p>【未整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿南鳴門線（四国横断自動車道）、徳島南環状線、徳島東環状線、住吉万代園瀬橋線、大野法花線、大野犬山線、幸町南二軒屋線、城南法花大神子線、新浜本町横須線、徳島駅西須賀線、二軒屋駅新浜線、市原沖須賀南部線
都市計画公園・緑地	<p>【広域公園】 日峯大神子広域公園</p> <p>【総合公園】 徳島県文化の森総合公園</p> <p>【特殊公園】 徳島市総合動植物公園</p> <p>【街区公園】 山城南公園、北浜公園、北川公園、南浜公園、城南公園</p> <p>【近隣公園】 山城公園</p> <p>【緑地】 夷山線地</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道中央処理区（八万の一部）、眉山風致地区、日の峯大神子風致地区、論田ごみ焼却場（東部環境事業所）、論田し尿処理場、八万東土地区画整理事業、地区計画（八万町大坪地区）、特別用途地区（大規模集客施設制限地区）

2) 地域の将来像とまちづくりの方向性

将来像

水と緑と文化が息づく安全・安心なまちづくり

- ▶ 徳島県文化の森総合公園や日峯大神子広域公園などの公園や自然環境を活かした誰もが心豊かになれる暮らしの実現を目指します。
- ▶ 浸水リスクの軽減や防犯対策の強化による安全・安心な暮らしの実現を目指します。



まちづくりの方向性

- ① 自然を活かした快適でゆとりある住環境の形成
- ② 駅中心に歩いて暮らせるまちづくりの推進
- ③ 文化・自然・商業が調和するまちづくり
- ④ 災害に強く、安全・安心に暮らせるまちづくり
- ⑤ 多世代交流による地域コミュニティの活性化

3) 分野別のまちづくりの方針

① 土地利用の方針

- 都市計画法による区域区分、用途地域等の土地利用規制を基本とし、市街化を促進する地域と優良農地や里山を保全し市街化を抑制する地域に分けて規制・誘導します。
- 二軒屋駅周辺は、都市機能の集積、魅力ある空間形成、まちなか居住の促進などによりにぎわいを創出し、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」拠点の形成を目指します。(中心拠点)
- 指定幹線道路沿道では、周辺環境との調和や景観に配慮し規制・誘導します。
- 市街化調整区域では、無秩序な開発の防止に努めます。徳島南環状線の整備により市街化が進むことが予想される地域は、地区計画制度の活用により秩序ある土地利用を維持しつつ運用してきましたが、コンパクトシティのさらなる推進に向けて、一定の移行期間を伴う廃止を視野に入れた検討を行います。(郊外まちづくり調整ゾーン)

② 都市交通体系の方針

- JR 牟岐線の鉄道高架の推進にあわせて幹線街路と側道の整備を進めます。
- バス路線の整理・再編を検討することにより利便性のさらなる向上を図ります。
- 中心拠点では、「歩いて暮らせる、歩いて楽しめる」まちづくりを推進します。
- 子どもや高齢者、障害者などの交通弱者が、安全にかつ安心して外出できる歩行空間を確保します。

③ 公園・緑地・水辺の方針

- 徳島市総合動植物公園及び徳島県文化の森総合公園では、自然体験や多様なレクリエーション活動の場としての機能の充実を図るとともに、両公園を結ぶトレッキングコースなど自然と一体となった健康・癒しの場としての充実を図ります。
- 日峯大神子広域公園では、自然海岸と森林の中で、スポーツやバーベキューなど、様々なレクリエーションを体験できる環境を充実します。
- 主要幹線道路沿道・河川周辺・公共施設の緑化を推進し、住宅地と田園集落の緑の保全を進めます。
- 河川などの水辺空間の保全・整備を進めます。

④ 都市環境・都市景観の方針

- 河川等の水質保全を図るため、公共下水道区域では既存施設の耐震・耐津波、耐水、老朽化対策を適宜実施し、公共下水道区域外では合併処理浄化槽の設置を促進します。
- 国道 55 号をはじめとする幹線道路沿道の景観形成、田園環境と調和した住宅地等の緑化や公共施設周辺の景観づくりを進めます。
- 河川沿いや日峯大神子広域公園をはじめとするレクリエーション施設周辺の景観づくりを進めます。
- 大神子海岸等は、周囲の無秩序な開発行為などに対する規制・誘導を適切に行い、海岸景観を保全します。



徳島県文化の森総合公園



弁天山

⑤ 都市防災の方針

- 公共施設の防災機能の強化を進めるため、災害に備えて各種備蓄を充実します。
- 近隣住民が一致協力して、地域ぐるみで防災活動に取り組めるように自主防災組織の活動を支援します。
- 高齢者、障害者、外国人、乳幼児等の要配慮者を災害から守るために地域で協力しながら支援する仕組みづくりを進めます。
- 民間施設を津波避難ビルに指定するなど避難場所の確保に努めます。
- 浸水被害の軽減を図るため、河道掘削、排水施設及び雨水貯留施設の整備等の流域治水対策を進めます。

⑥ 住環境整備の方針

- 既存集落や住宅団地等は、細街路や水路等の整備を促進するとともに、住環境の維持・向上に努めます。
- 農村集落部においては、優良農地の保全に努めるとともに、細街路や水路等の整備を促進し、集落環境の維持・向上に努めます。
- 道路や公園などへのLED防犯灯設置の推進などにより、夜間でも安全・安心に歩ける住環境づくりを住民と協働で推進します。

⑦ 協働によるまちづくりの方針

- 住民と行政が協力し、地域のまちづくりを進めます。
- 地域の魅力を高める取組や、住民が主体のまちづくりを支援します。
- 少子高齢社会に対応するため、地域のコミュニティを大切にしたまちづくりを進めます。



日峯大神子広域公園



生涯福祉センター（ふれあい健康館）

八万・勝占地域まちづくり構想図

- | | |
|----------------------------|------------|
| 低層住居エリア | 中心拠点 |
| 中層住居エリア | 公園・緑地 |
| 複合住居エリア | 大規模な公園・緑地 |
| 都心商業・業務エリア/周辺商業エリア/沿道商業エリア | 公共施設 |
| 工業・流通エリア/住工共存エリア | 教育施設 |
| 田園・集落エリア | 鉄道・駅 |
| 海岸環境エリア | 市街化区域 |
| 森林・里山エリア | 支所・公民館 |
| 郊外まちづくり調整ゾーン | コミュニティセンター |
| 主要幹線道路 | 寺院 |
| 幹線道路 | 神社 |

